

News Release

平成 22 年 4 月 2 日
消 費 者 庁

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

1. ガス機器・石油機器に関する事故 5 件
(うち石油給湯機 1 件、石油ストーブ (開放式) 1 件、
ガスこんろ (都市ガス用) 2 件、石油温風暖房機 (開放式) 1 件)
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 4 件
(うち電気洗濯乾燥機 1 件、鍋 1 件、電気ストーブ (ハロゲンヒーター) 1 件、
IH 調理器 1 件)
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 3 件
(うち発電機 1 件、**介護ベッド用手すり 1 件**、電気ストーブ 1 件)
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、第三者判定委員会において、
審議を予定している案件
該当案件無し

※ 1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項
本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。
6. 特記事項
(1) 長州産業株式会社が製造した石油給湯機 (管理番号 A200900657)
① 事故事象及び再発防止策について
当該製品の電磁ポンプに使用されている Oリング (パッキン) が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この漏れた灯油に引火し、機器及び周辺を焼損する事故が発生しました。

製造事業者である長州産業株式会社では、平成17年1月24日及び平成18年12月4日に新聞社告を掲載し、注意喚起を行うとともに、OEM製品を含む対象商品について無償改修を実施しています。

また、リコール開始後も未改修品での事故が継続しているため、長州産業株式会社を初めとし、同構造の電磁ポンプを保有する石油給湯機を製造・販売した他5社（OEM含む）及び社団法人ガス石油機器工業会では、平成20年11月25日以降順次新聞広告を新聞各社に掲載し、未改修の該当機種をご使用の消費者に対して速やかに連絡を頂くよう呼びかけを行っています。

さらに、長州産業株式会社は、販売店に対象製品の補足を依頼して改修促進を図っています。

②対象製品等：製品名及び該当製造年月日

会社名	ブランド	製品名	該当製造年月日
長州産業(株)	CIC	PDX-403D/DX-403D PDF-403D/DF-403D DX-403DF	1996年(平成8年)5月 から1999年(平成11年)10月 まで
(株)ワカサ	ワカサ	WBF-400C	
東京ツチヤ販売(株)	ツチヤ	AX-402A/EX-403A FK-405A/FC-406A	

- ・改修対象台数 3, 420台
- ・改修率 78.2% (平成22年3月15日現在)

③消費者への注意喚起

当該機器を含むリコール対象機器をお使いで、まだ製造事業者等の行う改修を受けておられない方は、下記問い合わせ先に速やかにご連絡ください。なお、改修対象製品には、長州産業株式会社の「CIC」ブランドのほか、株式会社ワカサの「ワカサ」ブランド、東京ツチヤ販売株式会社の「ツチヤ」ブランドの製品もあります。

(長州産業株式会社の問い合わせ先)

長州産業株式会社、株式会社ワカサ、東京ツチヤ販売株式会社の製品

フリーダイヤル：0120-652-963

受付時間：8時～17時（土・日・祝日を除く）

ホームページ：<http://www.choshu.co.jp/modules/information/index.php?page=article&storyid=3>

(本発表資料の問い合わせ先)

消費者庁消費者安全課（製品事故情報担当）

担当：中嶋、榎本 電話：03-3507-9204（直通）

(長州産業株式会社が製造した石油給湯機に関する問い合わせ先)

経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室

担当：宮下、中村、鈴木 電話：03-3501-1707（直通）

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日道府県	備考
A200900657	平成21年11月15日	平成21年11月18日	石油給湯機	EX-403A(タッチヤブランド)	長州産業株式会社 (タッチヤブランド)	火災	火災が発生し、現場に当該製品があった。調査の結果、事故原因は、電磁ポンプに使用されているオリング(パッキン)の劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。その灯油に引火して製品及び周辺を焼損したと考えられる。	茨城県	平成21年11月25日にガス機器・石油機器に関する事故として公表していたもの。製造から10年以上経過した製品。 平成17年1月24日からリコール実施
A200901165	平成22年3月18日	平成22年3月29日	石油ストーブ(開放式)	OS-22ED	松下電器産業株式会社 (現 パナソニック株式会社)	火災	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。当該製品への給油時の状況も含め、現在、原因を調査中。	富山県	
A200901166	平成22年3月16日	平成22年3月29日	ガスこんろ(都市ガス用)	OZ120-60D	オザキ株式会社	火災	揚げ物を調理中、当該製品から出火する火災が発生した。使用状況も含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A200901168	平成22年3月12日	平成22年3月29日	石油温風暖房機(開放式)	OVF-SE50	株式会社日立ホームテック(現 日立アプライアンス株式会社)	火災	当該製品を点火したところ、当該製品から出火し、建物が全焼した。使用状況も含め、現在、原因を調査中。	愛知県	
A200901170	平成22年3月20日	平成22年3月30日	ガスこんろ(都市ガス用)	RTS-4000GF	リンナイ株式会社	火災 重傷1名	調理油過熱防止機能の付いていない当該製品で揚げ物を調理中、その場を離れたところ、鍋から出火し、当該製品が焼損し、1名が火傷を負った。使用状況も含め、現在、原因を調査中。	東京都	

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日	備考
A200800286	平成20年6月8日	平成20年6月16日	電気洗濯乾燥機	TW-741EX	東芝ホームアプライアンス株式会社	火災	当該製品を運搬したまま外出したところ、火災が発生した。 事故の原因は、当該製品の温度ヒューズリード線のコネクタ一端子カシメ部付近で芯線が断線して、断続的通电が繰り返されたため、異常発熱が生じ、発火したものと考えられた。断線の原因は、焼損が著しく特定できなかった。なお、当該製品は、断線によるヒーターへの通電エラー等によって複数回運転が停止していた記録が確認されており、また、当該事業者のサービスマンによる修理が行われていた。	大阪府	平成20年6月20日に製品起因か否かが特定できない事故として公表していたもの
A200901163	平成22年2月25日	平成22年3月28日	鍋	16026	株式会社本間製作所	重傷1名	調理中、当該製品を持ち上げた際、片側の取っ手が外れ、側にいた1名にお湯がかかり、火傷を負った。現在、原因を調査中。	大分県	
A200901167	平成22年3月13日	平成22年3月29日	電気ストーブ(ハロゲンヒーター)	PLM-H601	株式会社東京衛機製造所(現 株式会社テークスグループ) (輸入事業者)	火災	当該製品から出火する火災が発生し、当該製品が焼損した。現在、原因を調査中。	千葉県	
A200901169	平成22年3月20日	平成22年3月30日	IH調理器	CY-1350	シャープ株式会社	火災	当該製品を使用中、ブレードが作動し、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	静岡県	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A200901164	平成22年3月13日	平成22年3月26日	発電機	CO中毒 軽症1名	当該製品を使用中、気分が悪くなり、2名が病院に搬送され、うち1名がCO中毒の疑いで入院した。現在、原因を調査中。	東京都	
A200901171	平成22年3月10日	平成22年3月30日	介護ベッド用手すり	死亡1名	介護ベッドの背を上げ、利用者を長座位の状態にして、その場を離れ、戻ったところ、当該製品に寄りかかる状態で死亡しているのが発見された。現在、原因を調査中。	兵庫県	
A200901173	平成22年3月14日	平成22年3月30日	電気ストーブ	火災	当該製品を使用中、近くにあった可燃物から出火し、当該製品及び周辺が焼損した。使用状況も含め、現在、原因を調査中。	京都府	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、第三者判定委員会において審議を予定している案件

該当案件無し